

## Profile

Curro Vandend

NG Male Human(Chelaxian) Magus(Kensai)

Curro は至って普通の、Sandpoint で生まれ育った少年である。

変った所と言えば、幼い頃からの愛読書が “ Samurai Elf Saya ” という、白と赤の東方の踊り子のような衣装をまとった少女(に見える Elf)が、細身の長い曲刀を振るって異形の敵を切り倒していく物語だった事で、

そんな Curro が Elf と Elf の使う優美な剣術に憧れたとしても不思議ではなく、感化されて Scimitar の訓練を始めたとしても、当時の Sandpoint の状況では特に奇異の目で見られる事はなかった。

Curro が Shalelu に出逢ったのは、数年前のモンスターの襲撃があった頃だった。

その頃 Sandpoint には自称・Elf から剣術を学んだ魔法剣士がおり、Curro も噂を聞いて Elf の剣術を教えてもらえないかと会いに行ったりもしたのだが、何分臭かったり、腕は確かだったものの優美さはなかったりしたので、Curro は少々幻滅していた。

しかし、Shalelu は本物だった。

モンスターの襲撃があった晩、訓練用の Scimitar を持って出た Curro が見た Shalelu の戦いぶりは、剣と弓との違いはあっても、長年憧れていたような、Elf ならではの毅然とした美しいもので、Curro は一目で魅了された。

Curro 自身も戦おうとしたのだが、生憎とまだ子供の内だったので、Shalelu に「子供は早く逃げろ」と制止されてほとんど戦う事は出来ずに避難する事になった。

それ以来 Curro は、いつか Shalelu と共に戦う事を夢見ながら、研鑽を重ねている。

## ■ Epilogue

帝城に巢食うアナムルモン一行を倒し、戦争に勝利した後、Curro は Oni の残党狩り部隊に加わって Minkai 各地を回った。

そうして Minkai に跋扈していた魑魅魍魎どもを切り刻んで満足すると、Curro は Shalelu と共に Minkai と仲間達を後にして旅立った。

まだ見ぬ絶景と、新たな異形の敵を求めてー。

そして世界各地には東方風の白と赤の衣装を纏った Elf の弓使いと、人間の刀使いが妖怪を倒す伝説が残ったというが、

彼らがその後どうなったか、温泉にちゃんと行ったのかはまた別の物語である。

## Relationship メモ

| 時期 | 補足 |
|----|----|
|----|----|

|        |                                                                                                                                                                              |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 最初     | シャレルは憧れの人。Elf と人間の年齢差なんて考えず、もう成人したのだから一人前に戦えるし、そう扱ってもらえる筈だと思っている。最初はなめられてた方がおいしい。                                                                                            |
| 第 1 回  | まだ子供扱いされる。ゴブリンに対して何か嫌な思い出でもあったのかなと思う。                                                                                                                                        |
| 第 4 回  | <u>Kalsgard</u> でデートに誘ってみるが <u>Shalelu</u> は装飾品などにはあまり興味がなく、実用品を好むようだ。割りと困る。口実を付けないとデートに誘えない。                                                                                |
| 第 7 回  | 高級 Magic Item は手が出ないので、実用品も兼ねて毛皮とかをちみちみ贈る。シャレルの弓との揃いの +2 Scimitar を貰って銘を考えて大切にしようと心に誓う。                                                                                      |
| 第 8 回  | シャレルが Snowcaster Elf に興味を示していたのでさりげなく故郷の話とかを聞く。PT から離れてオーロラを二人でゆっくり見ないかと誘われて慌てる。幸い何事も無く合流した。                                                                                 |
| 第 9 回  | 占いに使う予定だった剣舞を見せるが Perform は rank3 から上げてないので当然失敗する。Dervish になる訳じゃないし別にいいよね。                                                                                                   |
| 第 10 回 | ネクロポリスにはデートスポットがない。                                                                                                                                                          |
| 第 11 回 | 暦の上では春ですねという訳でエルフの春祭りについて話を聞くがあまり弾まず。そろそろエルフ好きをアピールするだけの RP は限界か。                                                                                                            |
| 第 12 回 | 金髪美人の好きな地方領主にシャレルが求婚されて、エルフと人間では時の流れが違うから結婚は難しいと墓穴を掘り、シャレルに少し悲しい顔をされる。その後のデートではっきりしない事を言ってフォローするが、本当はエルフが好きだからシャレルの事が好きなんじゃなくて、愚鈍王のような興味本位とは違うんだという事を言いたかったらしい。キャラ的にもまだ言えない。 |
| 第 19 回 | 今まで実用品にしか興味を示してくれなかったシャレルさんが、お洒落な鞆を僕と出かける用にいいかもね、なんて言ってくれるなんて！！アメイコさんに相談してみて良かった。                                                                                            |
| 第 20 回 | シャレルから互いに Shield Other のかかる脇差しを貰い、守りあいつつ戦う事を約束する。                                                                                                                            |

|        |                                                                                                        |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 23 回 | 呪いでろくろ首になりかけ、自分が人間じゃなくなってもシャレルさんは僕を好きでいてくれるだろうと思う。ああ、でもそもそも僕とシャレルさんは違う種族だっけ。そこを最終確認してめでたくロマンス突入となりました。 |
| 第 24 回 | この戦争が終わったら、今度こそ温泉に行きましょう！出来れば二人っきりで！                                                                   |

## Data

- Class : Magus(UM)
  - Archetype : Kensai(UC)
- Race : Human
  - Alternate Racial Talent : Dual Talent
    - Ability2 つに +2, Bonus Feat , Skill と代替
- Trait : Childhood Crush(Jade Regent Player's Guide)
  - 対象 NPC : Shalelu
- Core 外 Feat : Dervish Dancer(Innner Sea)
  - Prerequisites : Dex 13, Weapon Finesse, Perform (dance) 2, proficient with scimitar
    - Scimitar を片手で持っている時、AR・damage に Str の代わりに Dex を使う。もう片方の手には武器・盾を持てない。
- Core 外 Spell
  - Frostbite(UM) : Cold damage+Fatigue(Fort n)
  - Warding Weapon(UC) : round/lv, Spell cast 時に AoO を受けない
  - Weaponwand(ISM) : min/lv, Weapon と Wand を合体させる
- Core 外 Item
  - Liquid Ice(APG) : Focus として使うと Ray of Frost の damage+1
  - Armored Kilt(AA) : 呪文失敗率 0% の AC +1 Armor

## ■ 今後使うかもしれないもの

- Magus Arcane
  - Ghost Blade(UC)
    - Arcane Pool で武器を強化する時に +1pt 払って Brilliant Energy と Ghost Touch を入れられるようになる。9lv から
  - Devoted Blade(UC)
    - Ghost Blade 同様に、Holy を入れられるようになる。12lv から
  - Bane Blade(UC)
    - Ghost Blade 同様に、Bane を入れられるようになる。15lv から
- Feat : Piranha Strike(Pathfinder Companion:Sargava, the Lost Colony)
  - Power Attack の完全 Dex 版。前提が Weapon Finesse と BAB+1 で軽い武器にしか乗らないし、両手持ちしても damage+3 にならない。勿論 Touch Attack にも乗らない。